

『船荷証券に撰取された航海傭船契約の FIOST条件に基づく運送人の貨物損傷責任』

Societe de Distribution de Toutes Merchandises en Cote D'ivoire trading as "SDTM-CI" and others v. Continental Lines N.V. and others ("The Sea Mirror") [2015] EWHC1747 (Comm)

【事案】

Sea Mirror号に約45万袋の米(以下「本件貨物」という)が積載されてパキスタンからコートジボワールまで海上輸送された。船荷証券が発行されたが、Hague Rules及び航海傭船契約が撰取されていた。本件貨物が荷揚げされた際に、コメ袋が引き裂かれたことによる濡れ・カビによる損傷と数量不足が発見された。本件では、運送人が不適切な船積みまたは荷揚げによって貨物に生じた損傷について責任を負うかが争点となった。

航海傭船(Synacomex 90標準書式の関係条項が撰取)には、以下の条項が規定されていた。

- ①貨物は、荷送人/傭船者の費用と危険により船積み、荷ならし、積付けされる(at the expenses and risk of Shippers/Charterers)。
- ②貨物は、荷受人/傭船者の負担と危険により荷揚げされる(at the expenses and risk of Receivers/Charterer)。
- ③貨物の積付けは、船長の指示及び責任の下行われる(under Master's direction and responsibility)。

本件貨物の濡れ・カビによる損傷は、積付け作業に起因して発生していたところ、貨物の積付けは船長の指示及び責任の下行われるという上記条項に基づき、運送人は責任を認めた。

次に、仮に船積みまたは荷揚げ作業に起因して本件貨物の不足が生じたことが立証された場合には、上記条項に基づき、その責任を負うのが運送人かまたは貨物利害関係人であるかが争点となった。

【判決】

本事案の判断する前提として、“The Jordan II”事件[2005]1 Loyd's Rep57を引用し、運送人及び貨物利害関係人が船積み、積付け及び荷揚げの作業について責任を負わないとする合意は有効であるとされた。さらに、これら作業の責任を貨物利害関係人に負わせるためには明確な合意が必要であるが、その明確性を判断するために、費用を誰が負担するのか、誰が行うのか、誰が責任を負うのかという3要素について考慮する必要がある

とされた。そして、この3要素について、同一の当事者に帰属するという推定は存在しない、すなわち、傭船者が荷役費用を支払うことに同意していたとしても、責任を負うことは推定されないとされた。

以上及び先例の検討により、①“at the expenses and risk of Shippers/Charterers”及び②“at the expenses and risk of Receivers/Charterer”は、船積み、荷ならし、積付け及び荷揚げにおける責任を荷送人/荷受人/傭船者に移転するのに十分に明確であるとし、不適切な船積み/荷揚げ作業による損傷については貨物利害関係人が責任を負い、運送人に対する請求は認められないと判示した。

【コメント】

英国では、“The Jordan II”事件において、コモンロー上の船積み、積付け、荷揚げの荷役作業の責任は運送人にあるところ、明確な合意によって荷送人に移転する合意はヘーグ規則3条8項に反せず無効ではない、さらに傭船契約上の合意がB/Lに撰取されていれば、傭船契約の当事者ではないB/L所持人に対しても、その合意を主張できると判示した。本判決は、“The Jordan II”事件を踏襲し、合意の明確性について詳細に検討している。また、明確性については一義的な文言まで要求されておらず、多義的であったとしても明確であれば足りるという点も判示した。

日本においてもFIOST条項の有効性について議論があるが、FIOST条項の合意の明確性について特に論じるものは少ないように思われる。これは、責任の有無について規定する他の契約条項と比較して、FIOST条項の明確性をとりわけ論じる必要はないからのように思われる。

なお、“The Emes Solar”事件[2013]2 Loyd's Rep487(本誌2013年12月号56頁)では、荷役作業の責任を貨物利害関係人に移転させる合意は有効としたうえ、船主側が荷役作業に重大な介入をしている場合には、船主側は責任を負うという判断がされている。実務では、合意の明確性に加え、船主・運送人側の介入の有無も重要な問題となっている。■